

平成25年度事業計画書

1. 保健管理研究集会事業

(1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学において取り組んでいる学生・教職員の保健管理に関する種々の課題について、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、有識者から感染症やメンタルヘルスなど時宜を得た講演を受講し、シンポジウムにおいて議論に参加することにより、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛生の向上並びに学術研究の発展に寄与することを目的として開催している。

平成25年度の第51回全国大学保健管理研究集会は、岐阜大学を当番校として平成25年11月13日（水）～14日（木）の両日、岐阜市「長良川国際会議場・岐阜都ホテル」において開催する。

なお、詳細はプログラム等が確定次第、当協会ホームページ等にて案内する。

(2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、地方部会ごとに保健管理研究集会、研究会、研修会、事例検討会等を開催し、当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する研究者、実務担当者等の知的交流及び研究活動の活性化を図り、大学における保健管理の一層の充実に努めている。

各地方部会では、当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する研究者や実務担当者等が日頃から取り組んでいる保健管理に関する課題等を持ち寄り、その成果を発表、討論する研究集会を開催するほか、地域の特性に応じたテーマ或いは職種毎の研究会・研修会を開催して保健管理に関する研究の進展や技術の向上等を図るため取り組んでいる。

平成25年度も昨年度と同様、各地方部会において研究集会や職種ごとの研究会・研修会を開催する。

なお、詳細はプログラム等が確定次第、当協会ホームページ等で案内する。

2. 保健管理業務情報事業

(1) 機関誌発行事業

当協会では、大学における保健管理に関する分野の調査研究活動の成果や、全国大学

保健管理研究集会の優秀論文等の研究論文を機関誌として年1回発行し、会員及び研究集会参加者その他関係方面に配付するとともに、希望する研究者等には無償で配付している。

平成25年度は、第51回全国大学保健管理研究集会報告書として「CAMPUS HEALTH(1)」(1,500部)を、学術論文・協会彙報掲載の「CAMPUS HEALTH(2)」(1,700部)を刊行する。

(2) 情報活用・交換事業

麻疹やインフルエンザの流行、子宮頸がんワクチンの認可及び行政上の接種支援措置の実施など大学における保健管理に関する事案について、大学として時宜を得た施策が必要となるが、個々の大学の保健管理施設だけでは対応することが難しい。

そこで、当協会では大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、各大学が合理的で適切な判断や対応ができるように、これら収集した情報や資料を提供している。

平成25年度は、大学の保健管理に関する資料や情報を会員間だけでなく当協会のホームページを通して広く提供するほか、各種情報を任意宛に一斉配信する機能の充実向上を図るとともに、更にメールマガジン機能を備えた情報交換網の整備を行い、大学におけるインフルエンザや麻疹等の感染症の発生等の緊急時対応やメンタルヘルスなど学生・教職員の保健管理に関する諸課題等に迅速かつ適切に対応できるよう本事業を推進する。